

災害時燃料供給協定・BCP対策と
令和6年能登半島地震における燃料の配送対応や課題等



株式会社松林
代表取締役 松林威寿

令和6年能登半島地震復興に向けた取組みと今後の課題

- ・復旧工事の発注者（国土交通省・石川県）に被災地域業者からの燃料購入を条件（提案）とした入札を発注してもらうことにより、地域燃料サプライチェーンの自主復興・人口流出を防ぐ手立てとする
- ・地域の燃料業者が共同にて配送・合理化を進める必要がある（地域外業者はその傘下に入った体制の確立）
- ・地域外燃料販売業者（特に大手商社）による災害復旧工事への営業活動により、本来自主復興すべき被災地域燃料販売業者に資金が生き渡らず、自主復興を妨げる要因になっている
- ・避難所への燃料供給を行う際、タンクローリーへの補充のために燃料を購入するために、国土交通省北陸地方整備局が元売発券カード（大手商社発見）を使用したため、24時間体制での燃料供給を行っていただいた業者様（森本石油様・舞谷商店）には仕入+5円程度の利益しか得られていない。販売単価は不明だが、発券店は漁夫の利を得ている！？

能登半島 給油場所一覽20240117



給油対象避難所情報 (国交省 原子力災害防護施設 経路図)

穴水町役場 → 原子力災害防護施設



原子力災害防護施設 入場経路



のと里山海道 西山ICで一般道、
その後はう回路を通り、ナビの指示通り移動する



Googleマップ QRコード

【進入路】

R249から集落に入ると施設までの坂道が急なため、降雪時はチェーンを装着する必要がある。

装着の際は現場手前の道の駅 赤神にて行う



給油対象避難所情報（国交省 原子力災害防護施設 給油対象）



【照明車 47-59】

助手席側 車両用タンク
車両後方 発電機タンク

※注意事項

給油前に声掛け

エンジン停止後に発電機タンクに給油

必ずタンク2つに給油

予備ポリ缶への給油の有無を確認

車両の発電機への給油の際は、必ず安全帯（腰ベルト）を装着すること



【進入路】

R249から集落に入ってから、施設までの坂道が急なため、降雪時はチェーンを装着する必要がある。装着の際は現場手前の道の駅 赤神にて行う

国交省 のと里山空港



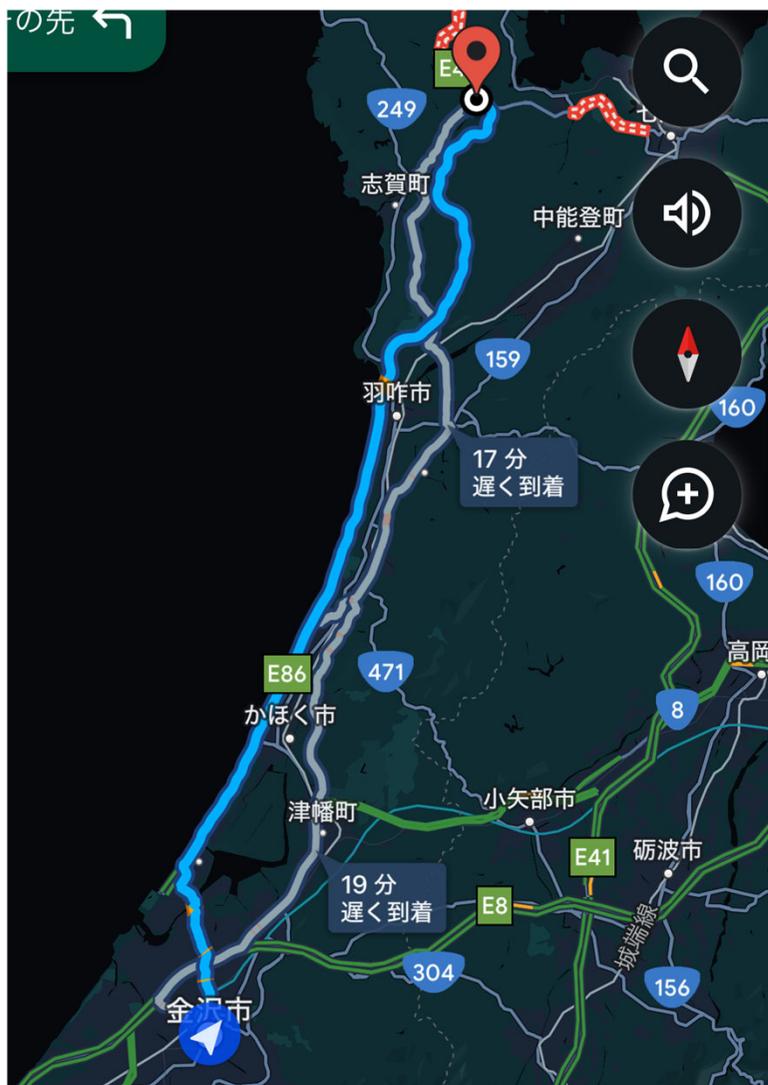
タンクローリー・携行缶への補充は舞谷石油にて行う
※20L携行缶×1：松林備品 10L携行缶×2：国交省備品
給油はF Cカードを使用すること

国土交通省 のと里山空港（給油対象：対策本部車）

経路図①

①宿舎 → 徳田大津 I C

②徳田大津 I C → 穴水町役場



①徳田大津 I C
マップQRコード



②穴水町役場
マップQRコード



宿舎から現場に向かう際は、まず徳田大津 I C をナビにセットし、徳田大津 I C を降りたところを左折、3号線を直進後、どん突きを左折、その後は道なりに進めば穴水町役場に到着する
(徳田大津 I C を降りると穴水方面の看板有)

国交省 のと里山空港 (給油対象：対策本部車)

経路図②

徳田大津 I C → のと里山空港

原子力災害防護施設 入場経路



のと里山空港
ORコード

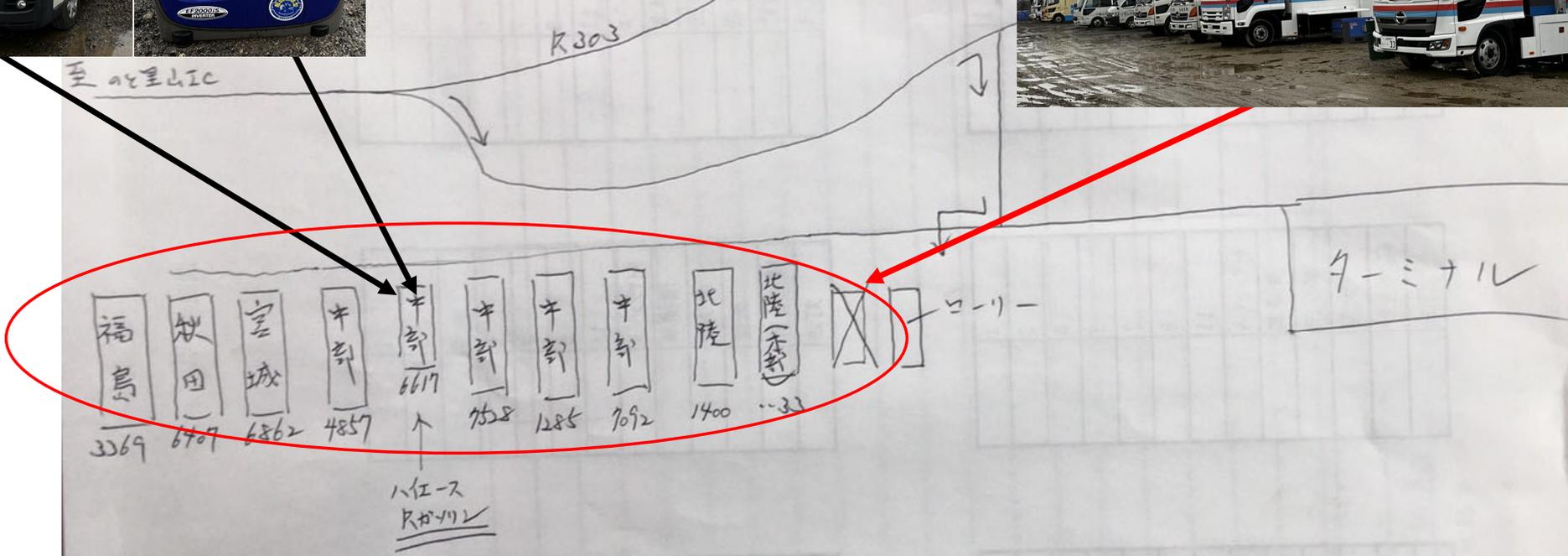


→ 輪島 → のと里山空港 → 穴水町役場の一方通行区間は西側ルートは交互通行可能。東側ルートは一方通行のまま

国交省 のと里山空港 対策本部車配置図



ハイエース・発電機はガソリン
携行缶から給油をする
携行缶の給油は舞谷石油にて行う
レシートは国交省責任者にそのまま渡す



奥にあるハウスの発電機には給油しない！

